

ガザミ幼生の脱皮前期における器官内部の形態変化について

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2025-04-24
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 浜崎, 活幸
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014332

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



ガザミ幼生の脱皮前期における器官内部の形態変化について

浜崎活幸

本研究では、ガザミ幼生について、次の脱皮のための準備期間である脱皮前期における 2, 3 の器官の内部形態の変化過程を追跡するとともに、この間の観察に基づいて脱皮前期を以下の如く 5 期に細区分した。各期における形態変化の基準的特徴は以下の如くである。1 期：表皮が古い外骨格から分離する。2 期：表皮が褶曲する。3 期：新しい剛毛の陥入が始まる。4 期：新しい羽状剛毛が出現する。5 期：新しい外骨格が出現する。このような基準的な内部形態の変化を手掛かりとして、ガザミ幼生の健全性の評価が可能になると思われる。

栽培技研, 17(2), 87-91 (1989)